

活動名	17. 地域支援・他施設との連携活動
-----	--------------------

(1) 地域支援活動

保健センターや総合診療部を中心として実施した地域への支援や他機関との連携活動として総計 861 名が役割を果たした。

平成 23 年度地域支援活動実績

職種	活動人数												年間
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
医師	26	26	37	33	26	37	29	29	22	22	31	31	349
保健師	12	11	12	23	14	15	10	12	14	13	20	10	166
看護師	7	11	5	15	11	10	11	10	10	5	8	13	116
臨床心理士	5	7	3	6	6	5	3	2	2	4	4	3	50
言語聴覚士	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	4
視能訓練士	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3
理学療法士 作業療法士	1	1	5	4	3	5	2	3	6	1	2	1	34
医療社会事業担当	8	18	13	7	8	12	12	16	6	12	15	6	133
保育士	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	6
計	59	74	75	91	70	84	68	75	61	57	82	65	861

平成 23 年度地域支援活動実績（内訳その1）

- 地域や行政で主催される小児保健医療に関する専門家による会議への参加（委員としての活動など）
- 地域で主催される専門家や一般県民への研修会・講演会の講師等の活動
- 市町村の乳幼児健診に対する視力検査等の技術支援
- 地域での療育活動に対する技術支援

職種	活動人数												年間
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
医師	15	16	28	15	14	24	22	21	12	11	24	22	224
保健師	8	7	3	11	5	7	3	9	8	3	12	2	78
看護師	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
臨床心理士	2	4	1	0	2	1	2	0	0	0	0	0	12
言語聴覚士	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	4
視能訓練士	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3
理学療法士 作業療法士	0	0	5	3	2	4	2	2	5	1	1	0	25
医療社会事業担当	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
保育士	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	2	0	5
計	26	30	37	32	25	36	29	35	26	15	39	25	355

平成23年度地域支援活動実績（内訳その2）

- e. 要保護児童対策のための地域ネットワークへの支援として、地域主催のケース検討会議への助言、または会議メンバーとしての参加や地域ネットワークメンバーが小児センターに来所して開催するケース検討会議への参加が行われている。

職種	活動人数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
医師	11	10	9	18	12	13	7	8	10	11	7	9	125
保健師	4	4	9	12	9	8	7	3	6	10	8	8	88
看護師	6	9	5	15	11	10	11	10	10	5	8	13	113
臨床心理士	3	3	2	6	4	4	1	2	2	4	4	3	38
言語聴覚士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
視能訓練士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理学療法士 作業療法士	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	9
医療社会事業担当	8	17	13	7	8	12	12	16	6	12	15	6	132
保育士	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
計	33	44	38	59	45	48	39	40	35	42	43	40	506

（2）東日本大震災における被災地支援

2011年3月11日(金)に東日本大震災が発生した。震災の被災地に、保健センターから2名の保健師、医療部門からは心療科医師、看護師、臨床心理士が派遣された。

保健師のうち1名は心のチームとして、当院の心療科の医師と臨床心理士と4月4日～4月9日まで交通が十分には確保できていない早い時期に気仙沼に派遣された。主な活動としては5か所の避難所や家庭訪問で心の診療活動を中心に支援した。



もう1名は県の保健師活動支援として派遣され、県及び市町村の保健師と共に5月23日～5月30日まで岩手県の大槌町に派遣で7か所の避難所を担当し、健康状態の把握や予想される健康問題に対する健康教育、必要なケースには家庭訪問等を実施した。



大槌高校体育館の避難所

表. 当センタースタッフによる東日本大震災への被災地支援

No.	日時	派遣地域	主な活動	派遣者名（職種）
1	平成23年4月4日～ 平成23年4月9日	宮城県気仙沼市	こころのケアチームとして避難所及び家庭訪問。	川村(医師)、今本(臨床心理士)、加藤(保健師)
2	平成23年4月8日～ 平成23年4月13日	宮城県気仙沼市	こころのケアチームとして避難所及び家庭訪問。	加藤(医師)、加藤(看護師)、河邊(臨床心理士)
3	平成23年4月9日～ 平成23年4月117日	宮城県多賀城市	多賀城市避難所支援業務。	吉川(事務職)
4	平成23年5月23日～ 平成23年5月30日	岩手県上閉伊郡大槌町	愛知県内市町の保健師と共に保健師活動支援。	森本(保健師)
5	平成23年6月22日～ 平成23年6月28日	宮城県気仙沼市	こころのケアチームとして避難所及び家庭訪問。	新井(医師)、林(看護師)
6	平成23年7月10日～ 平成23年7月16日	宮城県気仙沼市	こころのケアチームとして避難所及び家庭訪問。	松本(医師)、山越(看護師)

(3) 大府養護学校との連携

大府養護学校との連携では、各種会議やケース検討会、学校行事への参加や学校健診への支援システム等で調整し、連携を図り、児童、生徒の病院の治療と学校生活上の問題に対応している。

1) 大府養護学校とあいち小児保健医療総合センターの連携会議

a) 運営協議会

目的・内容	学校及び病院における児童生徒の療育および教育に関する基本的事項の調整を図る。
開催	年度当初、年1回程度
学校参加者	校長、教頭(2)、事務長、部主事(3)

第3章 活動別の実績とその評価

センター参加者	センター長、副センター長(3)、保健センター長、事務長、総合診療部長、内科部長、外科部長、耳鼻いんこう科部長、放射線部長、臨床検査部長、看護部長、薬剤部長
担当窓口	学校：教頭（内田）、センター：保健室長（山崎）

平成23年度：平成23年4月28日（水）

b) 連携協議会

目的・内容	病院（病棟）と学校との連携に係る課題解決を迅速かつ円滑にすすめる。
開催	随時、センター研修室等
学校参加者	教頭（2）、部主事（3）
センター参加者	総合診療部長、看護部副部長（1）
担当窓口	学校：教頭（内田）、センター：保健室長（山崎）

c) 生活指導連絡協議会

目的・内容	児童生徒の学校、センターにおける生活上の課題や問題点について話し合い共通理解をはかり指導・支援に役立てるとともに、学校・センター間の連携を深める。
開催	全体会4回と、生徒指導部1回の計5回開催する。
学校参加者	部主事、生徒指導部職員、関係学級担任等
センター参加者	関係病棟看護師長、関係看護師若干名、医療社会事業担当、チャイルドライフ担当
担当窓口	学校：生徒指導部主任（平井）、センター：医療社会事業担当（山田）

第1回 平成23年4月22日（金） 15:45～16:00

第2回 平成23年7月1日（金） 15:30～16:00

第3回 平成23年9月9日（金） 15:30～16:00

第4回 平成24年1月13日（金） 15:30～16:00

第5回 平成24年3月9日（金） 15:30～16:30

d) 入退院検討会

入院しながら学べる環境作りのため、大府養護学校に通う患児については、センター職員と学校教諭との間で入院時に（退院時は必要に応じて）検討会を実施し、また随時カンファレンスを開催している。

目的・内容	大府養護学校に通学する児童・生徒の入退院を組織的かつ円滑に進めるため、随時開催する。
開催	随時、センター研修室など
学校参加者	関係部主事、担任等
センター参加者	主治医、関係病棟看護師長、臨床心理士、医療社会事業担当、担当看護師等
担当窓口	学校：教頭（内田）、センター：医療社会事業担当（山田）

平成23年度：67回開催

のべ138名（心療科：84名、整形外科：28名、感染免疫科：16名、脳神経外科3名、内分泌代謝科：3名、循環器科：3名、腎臓科：1名）の検討を行った。

e) 学校保健委員会

目的・内容	学校保健について問題を検討し、その実践を推進していくための研究協議と連絡調整を行う。
開催	年2回程度（5月・2月）
学校参加者	校長、教頭、事務長、部主事、保健主事、教務部主任、生徒指導部主任、養護教諭
センター参加者	学校医代表、学校薬剤師、副看護部長、保健室長補佐
担当窓口	学校：保健主事（松岡）、センター：保健室長（山崎）

第1回：平成23年7月13日（水）

第2回：平成24年3月14日（水）

f) 学校評議委員会

平成23年度 平成22年11月4日（金）学校評議員 山崎総合診療部長（当日欠席）

g) 大府養護学校安全衛生委員会

大府養護学校健康管理医（山崎）

第2回：平成23年5月17日（火）

2) 学校保健関連の連携活動

a) 定期健康診断：児童・生徒の定期健康診断

学校医：山崎（内科）、服部（耳鼻いんこう科）、都築（眼科）、加納（歯科）が実施した。

児童生徒の定期健康診断 内科：平成23年5月12日、5月17日

耳鼻科：平成23年4月21日、4月28日

眼科：平成23年4月12日、4月22日

歯科：平成22年4月13日、4月27日

b) 修学旅行、宿泊体験学習の事前健康診断。

学校医：山崎（内科）により実施した。

平成23年5月12日、5月17日

c) 環境衛生検査

青木（学校薬剤師）により実施した。

平成23年度：平成23年6月9日、6月17日、6月29日、8月2日、8月3日、11月25日、平成23年12月16日、平成24年2月23日

d) 職員の定期健康診断・健康区分判定。

大府養護学校健康管理医（山崎）により実施した。

学校職員の指導区分判定：平成23年9月14日（水）

3) 学校行事・野外活動へのセンター職員の随伴等

平成20年度	日程等	随伴者	担当窓口
遠足	平成23年5月10日(火) でんきの科学館(名古屋市)	医師：須佐 看護師：西村	センター：山崎 学校：生徒指導主事(平井)
中学部宿泊体験学習	平成23年6月7日(火)～ 平成23年6月8日(水) 美浜青年自然の家	看護師：森	センター：山崎 学校：中学部主事(安藤)

4) センター入院児童・生徒の生活面での連携

以下の活動に対して、各主治医、看護師長・病棟看護師等が医療上の意見を述べて円滑な運営に協力した。

- a) センター入院児童・生徒の毎日の健康状態の連絡
- b) 学校外活動等についてのセンター(主治医・病棟)への連絡
- c) センター入院児童・生徒の体力テスト、運動会、水泳、ベースランニング・ウォーキング会、修学旅行、宿泊体験学習等への主治医への確認
- d) センター入院児童・生徒の家庭科調理実習の連絡

5) 医教連携セミナー

目的・内容	センターの職員を講師とし、大府養護学校が運営にあたり、知多地域を中心とした小中学校・高等学校の教職員の研修の機会を設ける。
開催・会場	年1回(8月) センター大会議室
担当窓口	学校：地域支援部主任(河野)、センター：保健室長(山崎)

平成23年8月1日(月) 講師：新井康祥(心療科)

平成23年8月8日(月) 夏季研修公開講座 講師：今本利一(心理指導科)

6) 国際交流

目的・内容	JICA等の主催する研修の一環として、大府養護学校の教育内容を紹介するとともに児童生徒との研修員との交流も行う。
開催	JICA 学校保健コース年1回、名古屋大学 Young Leaders Program 年1回
担当窓口	学校：地域支援部主任(内田)、センター：保健室長(山崎)

平成23年6月15日(水) 名古屋大学 Young Leaders Program 研修員8名の訪問

平成23年9月9日(金) JICA 中部集団コース「学校保健」研修員8名の訪問

8) センター職員の参加した学校行事

平成22年4月6日(水) 平成23年度入学式

平成22年10月1日(土) 平成23年度運動会

平成22年11月4日(金) 平成23年度文化祭

平成23年3月7日(水) 平成23年度卒業証書授与式